

事業名：市民文化祭開催支援事業

生涯学習課 生涯学習係

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実								
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造								
基本事業	01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援								
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市文化協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>・市民芸術文化活動の活性化を図るため、5部門の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助する。</p> <p>◎対象事業 ①舞台部門、②展示部門、③文芸部門、④生活文化部門</p> <p>・「江別市教育振興事業補助金に基づき、NPO法人江別市文化協会に、対象となる事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民文化祭での発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、より積極的な活動に取り組む市民が増え、市民主体の活動が活発に行われる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	文化協会構成団体数	団体	110	108	115	113
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	2,400	2,400	2,400	2,400
活動指標2						
成果指標1	参加者数（出演者＋来場者）	人	16,054	19,380	19,747	19,245
成果指標2						
事業費(A)		千円	2,400	2,400	2,400	2,400
正職員人件費(B)		千円	2,007	2,004	1,953	1,956
総事業費(A+B)		千円	4,407	4,404	4,353	4,356

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
25年度	<p>・市民芸術文化活動の活性化を図るため、5部門の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助した。</p> <p>1. 部門別事業</p> <p>①舞台部門（子ども文化祭ほか9事業）</p> <p>②展示部門（市民美術展ほか9事業）</p> <p>③文芸部門（川柳大会ほか2事業）</p> <p>④生活文化部門（囲碁大会ほか2事業）</p> <p>2. 総合芸術フェスティバル</p>	補助金 2,400千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
昭和27年第1回江別町民文化祭開催、18年度は第53回目を迎えた。文化協会の事業に位置づけして実施する現形態としたのは、13年度からである。本来あるべき市民の主体的な取り組みへと転換を図っている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

妥当である 妥当性が低い	理由根拠	市民の文化活動への意欲が年々高まる中で、芸術文化活動の促進については、本来は行政として直接取組むべきであるが、中核となる団体等の自主性・主体性を尊重し、より積極的な活動が展開される環境づくりを中心とした支援を行うことは妥当である。
-----------------	------	---

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠	市民文化活動振興の基礎的な事業であり、より一層市民の主体的・創造的文化活動を育成する中核的な取り組みとしての貢献度は大きいものといえる。
---------------------------------------	------	--

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠	参加者数は、年度により増減しているが、より多くの市民に鑑賞してもらうため、発表、展示内容や各ジャンルの相乗効果等を工夫する必要があり、引き続き文化団体・参加団体への指導・助言を行う必要がある。
-----------------------------------	------	--

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠	開催内容等に創意工夫をこらすよう団体に促す取組や「子ども文化祭」を中核として、青少年をターゲットとした文化活動への誘導を図る取組の強化により、活動年齢の幅が拡大され、次代への継承者が確保されるなど成果の向上が期待できる。
-------------------------------------	------	--

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

ある なし	理由根拠	入場料や参加者負担金の増額によって受益者負担を増額することは、成果の低下（参加者数の減少）を招くことになるので難しい。実施主体の文化協会には経費節減をお願いし、補助金額を減額してきている。 補助金額 H13 3,000千円 H15 2,600千円 H16 2,500 H18~ 2,400千円
----------	------	---